

# 第77回国民体育大会（栃木県国体）水泳競技の埼玉県代表選手選考基準

埼玉県国体代表選手は、県民の期待に答えられる競技力〔記録〕を持つ者の中から、国体において入賞が十分に期待できる選手を総合的な判断により選考する。

尚、選手は礼儀と規則を守り、埼玉県を代表するにふさわしい者を選考する。

## 1. 競泳

### ・個人種目

指定競技会における各種目の記録を参考に、総合的な判断により選考する。ただし、トップアスリート参加資格特例措置対象者は、上記に関わらず優先する。

### ・リレーメンバー

個人種目の選出選手および指定競技会の記録を参考に参加人数制限の範囲内でリレー要員を追加選考して構成する。

尚、トップアスリート参加資格特例措置対象者を除き、埼玉県国体予選会にエントリーをした者の中から選考する。

【参加人数制限】 ※（公益）日本スポーツ協会より抜粋

42名以内

※男子24名以内（成年、少年A、少年Bそれぞれ10名以内）

※女子23名以内（成年、少年A、少年Bそれぞれ10名以内）

※個人種目に出場しないリレー要員は、男女各5名以内（合計10名以内）

【指定競技会】

《 少年男女 》	※国民体育大会水泳競技大会埼玉県予選会〈少年の部〉	(7/28. 29)
	◇国際大会日本代表選手選考会	(3/2~5)
	◇日本選手権水泳競技大会	(4/28~5/1)
	◇埼玉県ジュニアオリンピック水泳競技大会	(7/9. 10)
	◇学校総合体育大会高校の部	(6/24~26)
	◇関東高校選手権水泳競技大会	(7/20~22)
	◇学校総合体育大会中学校の部	(7/22~24)

《 成年男女 》	※国民体育大会水泳競技大会埼玉県予選会〈成年の部〉	(7/29)
	◇国際大会日本代表選手選考会（※2）	(3/2~5)
	◇日本選手権水泳競技大会	(4/28~5/1)
	◇各地区学生選手権水泳競技大会（※1）	
	◇埼玉県ジュニアオリンピック水泳競技大会	(7/9. 10)

※1 成年男女における各地区学生選手権水泳競技大会（各都道府県予選会も含む）の記録は、選考会議が行われる午前中までのタイムを選考対象とする。

※2 令和4年度については、国際大会日本代表選手選考会を指定競技会に加える。

【選考基準】

- 1) 開催前3年間（2017/18/19）の国体決勝8位記録の中間タイム（選考基準記録）を上回っている者のうち、最も優れた記録を出している者。
- 2) 前項の者を除き、本大会決勝出場の可能性があると認められる記録を出している者のうち、最も優れた記録を残した者。

【選考基準記録】

		男子			女子		
		成年	少年A	少年B	成年	少年A	少年B
自由形	50m	22-86	23-55	24-45	26-07	26-59	26-96
	100m	50-65	51-83	52-78	56-92	57-26	58-16
	400m	3-57-19	4-04-31	4-06-54	4-18-32	4-20-15	
背泳ぎ	100m	56-22		58-92	1-03-10		1-05-55
	200m		2-06-29			2-17-88	
平泳ぎ	100m	1-01-53		1-05-15	1-10-68		1-12-56
	200m		2-17-11			2-35-31	
バタフライ	100m	53-16		56-49	1-00-35		1-02-26
	200m		2-04-23			2-16-21	
個人メドレー	200m	2-04-08		2-10-30	2-16-61		2-20-73
	400m		4-28-37			4-56-28	

## 2. 水球

- ・埼玉県国体代表選手は、(公財)日本水泳連盟競技要項に基づいた参加資格を有するものを選考対象とし、(一社)埼玉県水泳連盟の定める選考基準に沿って総合的な判断により選考をする。

【参加人数制限】※(公益)日本スポーツ協会より抜粋

- ・男女共に 正選手 11名

※ 関東ブロック大会では 正選手 11名・予備選手 4名以内 がエントリーできる。

【選考方法】

《 男子 》

- ① 埼玉県学校総合体育大会の優勝したチームの監督を国民体育大会埼玉県チームの監督とする。
- ② 監督は、本大会でよりパフォーマンスを発揮できるチームとなるよう、(一社)埼玉県水泳連盟の定める選考基準に沿って、総合的な判断により、代表選手の候補者を埼玉県水泳連盟に提案する。
- ③ 提案された選手について、埼玉県水泳連盟強化委員会水球部会において承認し、最終的なメンバーとして決定する。

《 女子 》

- ① 監督、コーチ、選手については、(一社)埼玉県水泳連盟の定める選考基準に沿って総合的な判断により埼玉県水泳連盟強化委員会水球部会にて選出する。

### 3. 飛込

- ・各都道府県に与えられた参加人数について、(一社) 埼玉県水泳連盟の定める選考基準に沿って総合的な判断により選考をする。尚、選考された選手は監督の指示、指導に遵守すること。

【参加人数制限】※ (公益) 日本スポーツ協会より抜粋

- ・ 4名

【選考基準】

次の基準に基づいて、上位入賞が期待できると認められる選手を選考する

《成年の部》

- ① トップアスリート参加資格特例措置対象となった選手
- ② 次の大会における競技成績のうち上位の者
  - A. 関東・関西選手権

《少年の部》

- ① トップアスリート参加資格特例措置対象となった選手
- ② 次の大会における競技成績のうち上位の者
  - A. 関東高校選手権水泳競技大会
  - B. 全国 JOC ジュニアオリンピック地域別予選会

### 4. アーティスティックスイミング

- ・埼玉県国体代表選手は、アーティスティックスイミング出場を希望する選手の中で、(公財) 日本水泳連盟競技要項に基づいた参加資格を有するものを選考対象とし、代表選手選考会にて選考する。

【参加人数制限】※ (公益) 日本スポーツ協会より抜粋

- ・ 少年女子 正選手 2名  
予備選手 1名以内

【本国体参加資格】※ (公財) 日本水泳連盟競技要項抜粋

(1) 年齢基準 少年女子 (中学3年生から高校生) 学校所在地から出場

2004年4月2日以降、2008年4月1日までに生まれた者。

(2) 種別および参加人数 デュエット1組(2名) 各都道府県代表 20組

(3) 関東ブロック予選方法

①各都道府県は、都道府県大会を実施し、ブロック大会に出場する代表チームを決定する。

※ただし 開催県はブロック代表の権利を有する。

②ブロック大会はテクニカルルーティン、フリールーティンを実施し関東ブロックは開催県の栃木県を除き、代表デュエットを3組決定する。

\* 関東ブロック大会は、7月16日(土)～17日(日) 東京辰巳国際水泳場にて開催

【埼玉県代表選手選考会】

《 日 時 》 2022年4月3日(日) 〈会場〉 アテナアクアメイツ

(1) 参加資格

- ① 日本水泳連盟競技者登録者で選手の所属するチームも団体登録が完了している事
- ② 埼玉県に所在地のある中学校(3年生のみ)・高等学校に在籍している事
- ③ 2022年度アーティスティックスイミングJr日本代表に選考された者はシードとする。

(2) 競技方法

- ① デュエット規定要素 シニア(ナショナルトライアル方式)
- ② チームテクニカルルーティン(個人)

(3) 選考規定・配点

デュエット規定要素 シニア					
	課題	満点	難易率	掛率	配点
1	垂直～BK～垂直～3回SP	10	2.3	÷13.5×10	100
2	BLシークエンス	10	2.9		
3	フィッシュテイル～2回転～1回TW～2回SP	10	2.8		
4	サイクロン～半回TW～WOF	10	3.0		
5	フライングフィッシュ～スピン360°	10	2.5		
チームテクニカルルーティン					
	課題	満点	難易率	掛率	配点
1	脚技	10	1	×3	60
2	プレゼンテーション	10	1	×3	
*減点について 課題を完全に抜かした場合は0点なる。それ以外はすべてジャッジ減点とする。					
				合計	160

【選考方法】

- 1) 2022年度アーティスティックスイミングJr日本代表に選考された者(以下、「Jr代表選手」)は、常に埼玉県代表選手として選考する。
- 2) 『2022年度国民体育大会アーティスティックスイミング競技埼玉県代表選手選考会』(以下、「埼玉県代表選手選考会」)の上位の者から順に3名(ただし、Jr代表選手を含めた人数とする)を関東ブロック大会に参加する埼玉県代表選手とする。  
\*但し、Jr代表選手の日程が代表合宿や遠征と日程が重なった場合は、埼玉県代表選手選考会結果の次点の者が繰り上がる。
- 3) 関東ブロック大会にて本大会への出場権を獲得した場合、本大会へは、埼玉県代表選手選考会における上位2位(ただし、Jr代表選手を含めた人数とする)を埼玉県代表選手とし、次点の1名を補欠選手として登録する。

## 5. オープンウォータースイミング

- ・埼玉県国体代表選手は、OWS 競技出場を希望する選手の中で、（公財）日本水泳連盟競技要項に基づいた参加資格を有するものを選考の対象とし、（一社）埼玉県水泳連盟の定める選考基準に沿って総合的な判断により選考する。

【参加人数制限】 ※（公益）日本スポーツ協会より抜粋

- ・男女各1名以内

【参加資格】 ※（公財）日本水泳連盟競技要項抜粋

- （1）2008年4月1日以前に生まれた者
- （2）2022年4月1日以降の都道府県水泳連盟（協会）が承認した公式競技会または公認競技会において、（公財）日本水泳連盟の定める下記の標準記録を突破した者、または2021年4月1日以降、日本選手権、OWS オーシャンズカップ、日本水泳連盟認定大会、国際大会において5km以上の競技に参加し完泳した者。

【参加標準記録】

- （1）標準記録（1/100秒までを対象とする）

男子 1500m 自由形 〈長水路〉 17分 00秒 00、もしくは 〈短水路〉 16分 45秒 00

女子 800m 自由形 〈長水路〉 9分 40秒 00、もしくは 〈短水路〉 9分 30秒 00

【選考基準】

- ・ 別途指定する競技会において標準記録を突破した者のうち、最も優秀と認められた者